ちひろ没後40年

ちひろの絵本づくり
―表現の可能性を求めて―

9月19日（金）～ 11月30日（日）

Ⅰ-1, 窓ガラスに絵をかく少女　『あめのひのおるすばん』（至光社）より　1968年

絵本でなければできないこと

さざなみのような画風の流行に左右されず、
何年も読みつづけられる絵本を、せつにかきたいと思う。
もっとも個性的であることが、もっとも本当のものであるといわれるように、
わたしは、すべて自分で考えたような絵本をつくりたいと思う。

いわさきちひろ　1964年

Ⅰ-2, 戦火のなかの少女　『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より　1972年

いわさきちひろは、生涯にわたって絵本表現の可能性を追求し続けた画家でした。たくさんの人に絵をみてもらいたいと印刷美術の世界を選んだちひろにとって、絵本はもっとも大切な仕事の中心であり、絵本制作が新たな画境を開くきっかけになることも少なくありませんでした。

本展では、画家として立つことを決意させた紙芝居「お母さんの話」の仕事から、最後に完成させた絵本『戦火のなかの子どもたち』まで、ちひろの創作の軌跡を追います。絵本の原画のほか、制作過程での習作やスケッチ、ダミーなどを展示し、絵本づくりにかけたちひろの思いを浮き彫りにします。

展覧会名：ちひろ没後40年　ちひろの絵本づくり ―表現の可能性を求めて―

会期：2014年9月19日（金）～ 11月30日（日）
○開館時間＝9：00 ～ 17：00
○休館日＝第2・4水曜日

会場：安曇野ちひろ美術館　展示室1・2

料金：大人800円／高校生以下無料
団体（有料入館者20名以上）、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

Ⅰ-3, りゅうにのる男の子
『りゅうのめのなみだ』（偕成社）より　1965年

展覧会の見どころ：**各年代の絵本作品を一挙公開**

初期から最晩年までの絵本の仕事を、年代を追って紹介します。ちひろの最初の絵本『ひとりでできるよ』、1960年代の物語絵本『りゅうのめのなみだ』、後期の『ひさの星』など、各年代の絵本の代表作のほか、未完の遺作『赤い蝋燭と人魚』の原画も公開します。

「感じる絵本」の誕生

1968年、ちひろは、雨の日にひとりでお留守番をする少女の心の揺れ動きを主題に『あめのひのおるすばん』を描きました。物語の説明ではなく、心情を感じさせることに集中した絵本づくりは、ちひろ独自の絵本の世界を切り拓きました。原画や習作のほか、ちひろのことばや編集者の証言もあわせて紹介します。

最後の絵本『戦火のなかの子どもたち』

ベトナム戦争が激化していた1973年、病をおして描いた『戦火のなかの子どもたち』が、ちひろが完成させた最後の絵本となりました。原画のほか、絵本のダミー、自筆原稿や資料などを展示します。

Ⅰ-4, 人魚の少女　『赤い蝋燭と人魚』（童心社）より
1973年

主な出展作品：『ひとりでできるよ』（福音館書店）より 1956年、『あいうえおのほん』（童心社）より 1960年、『りゅうのめのなみだ』（偕成社）より 1965年、『絵のない絵本』（童心社）より 1966年、『あかいくつ』（至光社）より 1968年、『あめのひのおるすばん』（至光社）より 1968年、『ひさの星』（岩崎書店）より 1972年、『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より 1973年　ほか

出展作品数：約70点

関連イベント：**ギャラリートーク**

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話しします。

日時：毎月第2・4土曜日　14：00 ～ 14：30

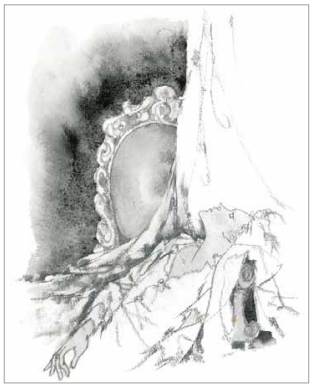
会場：安曇野ちひろ美術館　展示室1・2

料金：無料（入館料別）

申し込み：不要（参加自由）

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。
ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。　※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。　※掲載紙／誌をご送付ください。



Ⅰ-5, 玉座で死んだ少年
『絵のない絵本』（童心社）より　1966年

Ⅰ-6, 顔を洗う男の子
『ひとりでできるよ』（福音館書店）より　1956年

Ⅰ-7, 手に包帯をしたひさ
『ひさの星』（岩崎書店）より　1972年

安曇野ちひろ美術館
http://www.chihiro.jp/

お問い合わせ　安曇野ちひろ美術館　広報担当　奥原・畔柳（くろやなぎ）・田邊・入口
〒399-8501　長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772　FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp

＜企画展＞

聖コージズキンの誘惑 展

9月19日（金）～11月30日（日）

Ⅱ-1, やまのディスコティック　2013年

絵本『エンソくん きしゃにのる』、『サルビルサ』、『ブラッキンダー』などで知られる画家・スズキコージ（愛称 コージズキン）。奇想天外な発想、ダイナミックな描写、独特の極彩色で描き出される作品は、見るものを一瞬で魅了します。「絵本作家になりたいと思ったことはない。気づいたらなっていた」と語る画家が世に送り出した絵本は200冊超。大胆なタッチと繊細な描写が同居する画面には、独創的で濃密な世界観が満ちあふれています。

本展では、デビュー作『ゆきむすめ』から新作に至るまで、各年代を代表する絵本原画を展示するとともに、即興的に描く“ライブペインティング”から生まれた巨大な作品（約2×4m）、画家としての原点ともいえる若き日のスケッチブックなども紹介します。圧倒的な生命力と存在感を放つ作品の数々をご覧ください。

展覧会名：＜企画展＞聖コージズキンの誘惑展

会期：2014年9月19日（金）～11月30日（日）
○開館時間＝9：00～17：00
○休館日＝第2・4水曜日

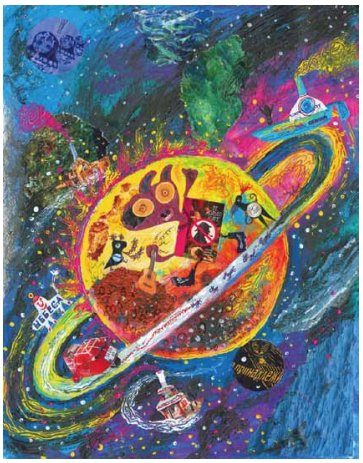
会場：安曇野ちひろ美術館　展示室4・多目的ギャラリー

料金：大人800円／高校生以下無料
団体（有料入館者20名以上）、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

協力：姫路市立美術館、Bluejay、未知谷

Ⅱ-2,『ヤッホーホイホー』（講談社）より　2013年



Ⅱ-3,『重さと力』（福音館書店）より　2010年

関連展示：2015年3月1日～5月24日　ちひろ美術館・東京　「聖コージズキンの誘惑展」　＊ただし、出品作品は変更します。

展覧会のみどころ：**新旧の代表的な絵本原画を多数展示**

絵本画家としてのデビュー作『ゆきむすめ』、点描で細密に描かれた初期の作品『WITCHEN』、出版以来高い人気を誇る『サルビルサ』、1枚の巨大な作品から生まれた絵本『ヤッホーホイホー』など、絵本画家スズキコージを語る上では欠かせない絵本原画を紹介します。

コージズキン監修　“絵を描きたくなるアトリエ”を再現！

世界を旅するなかで集めた民芸品、ダンボールにペインティングを施した仮面や王冠などが置かれ、絵筆やアクリル絵の具が散乱する……。画家自身による監修のもと、自分にとって居心地のよいアトリエが再現されます。ここで、ライブペインティングが始まるかも!?

巨大な作品がやってくる！

「ギター弾きがギターを持ったら音を奏でるように、絵描きだったら即描かなきゃ」と語る画家。1995年以降、即興で描く“ライブペインティング”を路上で行い、約2×4mの巨大な作品を制作し続けています。筆だけでなく、手や指を使ってダイナミックに描いた作品は圧巻！これまでに描いた巨大な作品の数々を展示します。

“コージズキン”になるまでの足跡を追う

小学校時代の絵日記や、画家を世に送り出した堀内誠一氏が「数日間見続けた」若き日のスケッチブック、初期のイラストレーションの仕事などを展示し、コージズキンになるまでの足跡をたどります。

画家プロフィール：

スズキコージ　Koji Suzuki　1948～

静岡県に生まれる。物心がついたころから絵を描き始めて現在に至る。1968年新宿歌舞伎町の路上にて初個展、1971年に個展「コージズキンの世界」を開催。1971年最初の絵本『ゆきむすめ』を発表。絵本、ポスター、壁画、舞台美術など幅広く活躍する。1987年『エンソくん きしゃにのる』で小学館絵画賞、1989年『やまのディスコ』で絵本にっぽん賞、2004年『おばけドライブ』で講談社出版文化賞、2008年『ブラッキンダー』で日本絵本賞大賞などを受賞。

出展作品数：約100点

主な出展作品：『ゆきむすめ』（世界文化社）より1971年、『エンソくん きしゃにのる』（福音館書店）より1986年、『サルビルサ』（ほるぷ出版）より1991年、『重さと力』（福音館書店）より2010年、『ほね・ホネ・がいこつ！』（保育社）より2013年、『ヤッホーホイホー』（講談社）より2013年　ほか

関連イベント：

●歌エヤ踊レヤ　大カーニバル
～イカス服とイカス王冠をつくろうぜぃ～
（主催）松川村図書館、安曇野ちひろ美術館
日時：9月20日（土）13：00～16：00
会場：すずの音ホール（松川村）
対象：小学生以上　料金：無料
定員：約30名　申し込み：要事前予約
（松川村図書館TEL.0261-62-0450、安曇野ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772にて）

●スズキコージ ゲリラトーク
画家自身によるギャラリートークを“ゲリラ”的に開催。時間は未定。コージズキンに会えるかも!?
日時：9月19日（金）
会場：安曇野ちひろ美術館
展示室4・多目的ギャラリー
料金：無料（入館料のみ）　申込：参加自由

●ギャラリートーク
展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展覧会の見どころなどをお話しします。
日時：毎月第2・4土曜日
14：30～15：00
会場：安曇野ちひろ美術館　展示室4
料金：無料（入館料のみ）
申込：参加自由

関連書籍：📖スズジコージ展覧会公式絵本『**アッチ コッチ ソッチの歌**』（未知谷）　2014年　AB横版　2200円（税別）

こちらの展示を記念して出版されました。	「スズキコージの絵本原始力展 ～聖コージの誘惑～」姫路市立美術館（2014年6月21日～8月31日） 「聖コージズキンの誘惑展」安曇野ちひろ美術館（2014年9月19日～11月30日） ちひろ美術館・東京（2015年3月1日～5月24日）

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。
ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

Ⅱ-4,『ゆきむすめ』
（世界文化社）より1971年

Ⅱ-5,『サルビルサ』
（ほるぷ出版）より1991年

Ⅱ-6,『エンソくん きしゃにのる』
（福音館書店）より1986年

安曇野ちひろ美術館
http://www.chihiro.jp/

お問い合わせ　安曇野ちひろ美術館　広報担当　奥原・畔柳（くろやなぎ）・田邊・入口
〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772　FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp

Ⅲ-1

Ⅲ-1, 谷内こうた　『あのおとなんだ』(至光社) より　1971年
Ⅲ-2, 西村繁男　『にちよういち』(童心社) より　1979年
Ⅲ-3, ユゼフ・ヴィルコン　ブルースを演奏する象　1994年

ちひろ美術館コレクション

絵本に耳をかたむけて

9月19日(金)～11月30日(日)

私たちの生活には、さまざまな音があふれています。目には見えず、留めておけない“音”を、画家たちは、豊かな表現で絵本のなかに響かせています。本展では、コレクション作品のなかから、「音楽」「人の声」「季節の音」など、“音”をテーマに、作品を紹介します。

Ⅲ-2

展覧会名：ちひろ美術館コレクション
絵本に耳をかたむけて

会期：2014年9月19日(金)～11月30日(日)
○開館時間＝9：00～17：00　○休館日＝第2・4水曜日

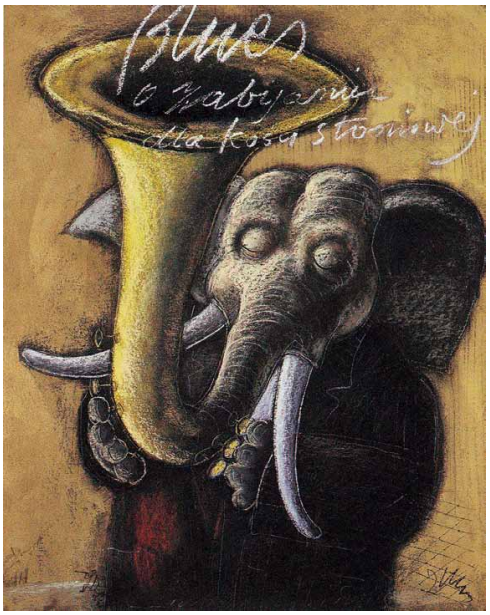
会場：安曇野ちひろ美術館　展示室3

料金：大人800円／高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

出展作品数：約35点

主な出展作品：ユゼフ・ヴィルコン（ポーランド）　ブルースを演奏する象　1994年
西村繁男（日本）『にちよういち』(童心社) より　1979年
赤羽末吉（日本）『そらにげろ』(偕成社) より　1978年
谷内こうた（日本）『あのおとなんだ』(至光社) より　1971年
シビル・ウェッタシンハ（スリランカ）『かさどろぼう』(徳間書店) より　1986年　ほか



Ⅲ-3

安曇野ちひろ美術館
http://www.chihiro.jp/

お問い合わせ　安曇野ちひろ美術館　広報担当　奥原・畔柳(くろやなぎ)・田邊・入口
〒399-8501　長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772　FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp

INFORMATION

展示関連イベント：絵本作家・スズキコージによるワークショップ

歌エヤ踊レヤ 大カーニバル
～イカス服とイカス王冠をつくろうぜぃ～

主催：松川村図書館、安曇野ちひろ美術館

スズキコージ（愛称：コージズキン）と一緒に、古着やダンボールを使って、世界にひとつしかないオリジナルの衣装（服・王冠）をつくります。最後は、音楽に合わせて、歌って踊って、大カーニバル！ みんなで奇想天外な世界にとびこんでみませんか？

9月20日（土）13：00 ～ 16：00

会場：すずの音ホール（松川村）　対象：小学生以上　定員：30名
料金：無料　申し込み：要事前予約
（松川村図書館TEL.0261-62-0450、
安曇野ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772にて受付）

スズキコージ ゲリラトーク

画家自身によるギャラリートークを“ゲリラ”的に開催。時間は未定。コージズキンに会えるかも!?

9月19日（金）時間未定

会場：安曇野ちひろ美術館　展示室4・多目的ギャラリー
料金：無料（入館料のみ）　申込：参加自由

夜のミュージアムを楽しむ お月見

この日は特別に21：00まで開館延長し、季節のイベントを楽しみます。

9月27日（土）21：00まで 開館延長

安曇野スタイル 2014

アジア各地で、平和としあわせを願い、女性や子どもたちへの支援にもつながる形で活動している、織や刺繍などの手仕事を紹介します。子どもたちが楽しめるイベントも予定しています。

10月31日（金）～11月3日（月・祝）
9：00 ～ 17：00

会場：安曇野ちひろ美術館
※イベントの詳細は改めてご案内します。

いわさきちひろ
枯れ葉と赤い服の少女　1971年

ちひろの水彩技法ワークショップ

ちひろ作品の特徴である“にじみ”の水彩技法を体験します。子どもから大人まで楽しめるワークショップです。

❶11月16日（日）
❷11月30日（日）

会場：安曇野ちひろ美術館
対象：どなたでも参加できます
申し込み：当日予約受付（各回先着順）

2014年6月開催ワークショップの様子

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日
　14：00～　ちひろ展
　14：30～　世界の絵本画家展または企画展
参加費：無料（入館料のみ）　申し込み：不要（参加自由）

撮影：橋本裕貴

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

日時：毎月第2・4土曜日　11：00～11：30
会場：安曇野ちひろ美術館　絵本の部屋
料金：無料（入館料のみ）　申し込み：不要（参加自由）

開館情報　安曇野ちひろ美術館は、12月1日～2015年2月28日まで冬期休館となります。2015年は3月1日より開館します。

安曇野ちひろ美術館
http://www.chihiro.jp/

お問い合わせ　安曇野ちひろ美術館　広報担当　奥原・畔柳（くろやなぎ）・田邊・入口
〒399-8501　長野県北安曇郡松川村西原3358-24
TEL.0261-62-0772　FAX 0261-62-0774
E-mail:apublicity@chihiro.or.jp